

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和3年6月14日(月) 第29回 通算第1593回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報写真担当

宮崎 秀剛

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第29回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
- ◇国家斉唱、ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇お客様並びにビジター紹介



RI第2530地区 県北第一分区 ガバナー補佐(福島南RC) 廣澤俊樹様

RI第2530地区 県北第一分区 幹事(福島南RC) 林 克重様

RI第2530地区 県北第一分区 幹事(福島南RC) 赤間浩一様

- ◇ガバナー補佐あいさつ 廣澤 俊樹様



- ◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



今日は本年度29回目の通常例会、あとは新旧歓送迎会を残すのみとなりました。毎回あいさつで何を話せばよいかと悩む必要がなくなると思うとホッとします。後ほど一年間を振り返ってのスピーチもございまして、話が多分にかぶる可能性がありますので、会長挨拶は短く済ませさせていただきます。一点、先日開催された分区事業の報告をさせていただきます。

6月12日土曜日、皆様にもご案内いたしました通り、マイヘルシーアクションと称して信夫山周辺を散策する事業が21クラブさんの主幹で開催されました。当クラブからは、私と息子、慶行幹事、大平先生と令夫人そして米山奨学生のハーさん併せて6名の参加をいただきました。天気にも恵まれ、開催時間前から集合場所の護国神社境内には60人以上の参加者が集まり、廣澤ガバナー補佐をして予想を裏切る盛況だと言わしめるほどでした。出発前に健康祈願と疫病退散祈願の御祈禱を受け早速スタートしました。第2展望台までは上り坂が予想以上に

ハードでしたが、みんなでおしゃべりしながら、ハーちゃんも息子がいたおかげでリラックスしているように見え、コミュニケーションをとるいい機会になりました。ハーちゃんをお誘いいただきご夫婦でご参加くださいました大平先生には感謝申し上げます。ありがとうございました。ただ、私にとって期待が外れたのは子供がいないことでした。御息やお孫さん連れの方がたくさんいるかなと想像していましたが、うちの息子だけだったのでかわいそうかなと思いました。もっとも当の本人はご存じのとおりです。全く意に介さず、マップを片手に先頭にたち、老タリアンを引っ張ってご満悦の様子でした。それからクラブ内では、終わった後の冷たい一杯をみんなで飲むところまでセットにして、気軽に楽しめるようなレクリエーションにも取り組んでゆきたいものだなと感じました。

さて、冒頭申し上げました通り、本日は幹事と共に一年を振り返ってのスピーチをさせていただきます。とりとめのない話となるかもしれませんが、お付き合いいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが会長挨拶とさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事



- 例会変更のお知らせ

- ・例会変更はございません。

- その他のお知らせ

- ・6/19(土)地区事務局研修セミナーがZoomにて開催されます。小澤事務局員が出席します。

- ・7/11(日)ロータリー奉仕デー「スポGOMI大会inふくしま」が開催されます。福島西RCとしても県北第一分区共催事業として参加しますので、ご家族、ご友人、会社の社員など、特にロータリー会員以外の方をお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い致します。チラシはポストに入れさせていただきますのでよろしくお願いたします。

- ・6月ロータリーレートは1ドル109円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智 弘委員



- 廣澤俊樹ガバナー補佐＝一年間お世話になりました。ありがとうございます。
 - 林 克重分区幹事＝本日もお世話になります。ありがとうございます。
 - 赤間浩一分区幹事＝本日はよろしくお願ひ致します。
 - 佐藤宗弘会員＝廣澤ガバナー補佐、林、赤間両分区幹事におかれましては、1年間ご苦労様でした。今後ともご指導の程、宜しくお願ひ致します。黒澤会長、佐藤幹事1年間ご苦労様でした。黒澤会長におかれましては次年度、分区幹事お世話になります。そして、7年後楽しみにしております。
 - 久米允彦会員＝黒澤会長、佐藤慶行幹事、一年間コロナ禍の中でクラブ運営本当に御苦労様でした。
 - 齋藤武二会員＝会長、幹事さんご苦労様でした。コロナ禍の中でのご努力に感謝申し上げます。
 - 宮崎秀剛会員＝本日も宜しくお願ひします。
- 1年を振り返ってスピーチによせて ——
- 佐藤慶行幹事 ○ 佐藤卓立会員 ○ 相澤 隆会員
 - 高梨哲男会員 ○ 大平謹一郎会員 ○ 渡辺敬藏会員
 - 野尻榮一会員 ○ 寺島英樹会員 ○ 高橋智弘会員

本日のスマイリングBOX集計16件 38,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございます。

◇本日のプログラム——1年を振り返って
○幹事スピーチ 佐藤 慶 行幹事
福島西ロータリークラブ会員の皆様こんにちは。改めまして、私2020—2021年 黒澤信之会長年度の幹事を務めさせて頂きました佐藤慶行です。黒澤会長のもと、クラブ幹事としての務めも、本日と来週の「新旧役員歓送迎夜間例会」を残すのみとなりました。その残り少ない幹事としての務めとしまして、本日は、いかに長く黒澤会長がお話しする時間を残すことが出来るか。これを、本日の幹事の務めとさせて頂きまして、2020—2021年度の1年を振り返り、ご挨拶をさせて頂きます。

まず、本日、メーキャップ頂いております。今年度、県北第一分区廣澤ガバナー補佐、林・赤間両分区幹事におかれましては、先週6月11日に、最後の第一分区会長・幹事会を無事終了となりましたが、廣澤ガバナー補佐、林・赤間両分区幹事にはこの一年間、親切・丁寧・細部にわたり、ご指導頂きまして有難う御座いました。改めまして、御礼・感謝を申し上げます。また、本日は、黒澤会長の「一年を振り返って」のスピーチを大変楽しみにしていたと同っております。黒澤会長の、この一年の思いが心に残る挨拶となると思いますので、楽しみにお待ちしております。

さて、昨年7月6日(月)黒澤年度記念すべき第一回例会が行われました。プログラムは、第一回例会ですので、会長・幹事スピーチでした。その幹事挨拶の際に、内容・時間配分などの、配慮が足りず黒澤会長にいきさかご迷惑をおかけしてしまった様に記憶しております。なので、私の挨拶は、程々とさせて頂きまして、黒澤会長のこの一年の思いを振り返っての挨拶をしっかりと語っていただきたいと思います。

それでは、これより改めまして「一年を振り返って」のご挨拶をさせて頂きます。

さて、今年度、2020—2021年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の広がりにより激動の一年でした。まるで映画の世界さながらに、一つの感染症がここまで世界を変える事になるとは、約一年半前のこの時期は、全く想像していませんでした。昨年初頭は、新型コロナウイルスが中国で発生し、武漢で大変なことになっているという、少し対岸の火事のような感覚で見ていたものの、日本国内でクルーズ船でのクラスター発生から、2月末には学校の臨時休校、東京オリンピックの開催延期、日本国内で非常事態宣言が発せられるなど、飲食業、観光業を中心に大打撃を受け、企業の業績にも多大なる影響が出ました。また、スポーツや文化的イベントも一時期は完全に開催できなくなってしまい、再開後も入場制限など制約付きで開催となり、今までの日常とはかけ離れた生活を送った年だったのではないのでしょうか。このような状況下にて、スタートとなった黒澤会長年度でした。2020—2021年度、黒澤会長はクラブ年度スローガン「今こそ集い、語

らい、楽しもう！！ Enjoy 福島西 Rotary」を掲げられ新年度スタートとなりました。

しかし、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大、そして再度の緊急事態宣言・・・それに伴っての外出自粛要請等、私たちがこれまでに経験したことのない生活環境の急激な変化の中、黒澤会長に於かれましては、大変難しいかじ取りとなり多くのご心労であったとお察しいたします。ロータリー活動に於いても、クラブ例会の自粛・中止、分区行事の内容変更開催、そして、中止・延期、地区行事でも、中止・延期・また、WEBによる参加開催など、これまでに無い形でのロータリー活動となりました。このような中であって、黒澤会長は類まれなるリーダーシップのもと、その人間力・発信力をもって「粉骨砕身」西クラブを力強く牽引頂きました。幹事としましてその一端を担えたことは、この大役を引き受け大変光栄であったと思います。

そして、このような状況下の中、やはりロータリー活動とは、毎週会員同士が顔を合わせ、例会に出てきて一緒に食事をし、学びの場で共に共通の時間を歩むことが、基本中の基本であると痛感致しました。上司部下・夫婦・恋人も同様に、相互の関係を上手に築き、また良い関係を継続するためには、やはりコミュニケーションが必要不可欠ではないでしょうか。顔を合わす・話す・食べる・飲む・歌う、共に同じ時間を共有することが、いかに大切なことなのか、そして、そこには「親睦の原点」、「奉仕の原点」があるのでないかと、この一年、幹事を務めさせて頂いたことにより改めて気付かされました。

ロータリークラブは、正に様々な会員の集まりです。会員同士のコミュニケーションが希薄ではクラブ相互の成長も絆も深まりません。これはまさに、黒澤会長がスローガンとされた「今こそ集い、語らい、楽しもう！！ Enjoy 福島西 Rotary」を実践することが必須であると痛感致しました。是非、次年度もクラブ運営に際し、この黒澤会長の思いの一端でも引き継いで頂きます様一考をお願い致します。そしてまた、現在急がれておりますワクチン接種の効果が表れ「新しい生活様式」を取り入れた形となりそうですが、毎例会・各行事が通常に行われることを願わずにはられません。

2020-2021年度、日本ロータリーは、100周年を迎えました。そして同年度、黒澤会長も生誕50周年を迎えました。この節目にロータリークラブ会長の重職を担われたのには、何かの意味合いがあるように感じざるを得ません。今後の黒澤信之会長のロータリー奉仕活動にて、さらなる枢要な地位に就く為の、伏線の始まりと思いつく日が来るのを楽しみに、今後益々のご活躍をご期待したく思います。

最後となりますが、2021-2022年度、高橋智弘会長・相澤隆幹事のご活躍をご祈念申し上げますとともに、今年度、クラブ運営を支えるべくご尽力頂きました理事・役員の皆様、事務局・小澤陽子様、

そして西クラブ会員皆様には心より感謝と御礼を申し上げます。

「一年間、ありがとうございました(#^^#)」

○会長スピーチ

黒澤信之 会長

長いようで短かった一年、短いようで長かった一年がいよいよフィナーレの時となりました。

改めまして、本年度、福島西ロータリークラブの会長を仰せつかりました、黒澤信之です。最終の通常例会にちなみ、一年間を振り返りスピーチさせていただきます。コロナウイルスのまん延にさらされる中、活動がどうなっていくのか、どう活動していけばよいのか見当がつかず、手探り状態でのスタートでありましたが、私が掲げたクラブテーマを、皆さん記憶していらっしゃるでしょうか。

「今こそ集い、語らい、楽しもう！！ ENJOI 福島西ロータリー」

しかし思うようにいかないことが多々ありました。少年野球大会が中止になりました。前年度から準備を重ね地区補助金ももらっての大事業になる予定でしたから非常に落胆しました。しかし、用具寄贈という形に内容を変え、青少年健全育成に引き続き係ることが出来たのは良かったと思います。贈呈の様様を新聞で大きく取り上げてもらい、公共イメージアップにもつながったと思います。卓立委員長にはお骨折りをいただきありがとうございました。

クリスマス家族会については、皆さんに協議をいただき、会員のみでの開催を計画しましたが、それすらも中止になりました。オークションの為に皆さんがせっかく準備してくださった品物はどうすべきかと心配しましたが、智弘委員長を中心に検討していただき、これも形を変えて皆さんの手に行き届かせることができました。

このほかにも、創立記念祝賀会を中止したり、野尻緑産さんへの職場訪問も断念したり・・・分区の行事、地区の行事も様々な部分で内容の変更や中止の決定がなされ、残念な思いでなりません、様々な制約や制限の中にあっても、だからこそ達成できたことや新たな試みの実施など成果を上げることができた部分もたくさんあったと思います。

Rotary opens opportunities

RIクナーク会長が掲げたロータリーは機会の扉を開くのをテーマを、まさに実践した一年だったと言えるのではないのでしょうか。

クラブとしては、活動目標を五つ掲げておりました。その中に例会の活性化とクラブ力増強という項目がありました。参加してよかったと思える例会、参加してみたい例会づくりをすることで、長期欠席者、いわゆる幽霊会員をなくし、一人ひとりが大切なクラブのメンバーなんだと思えるような環境にしてゆきたい一人一人があつての皆の西クラブにしたいと考えていました。年度スタート前に休みがちな会員を慶行幹事とともに訪問し、お声掛けしました。

長島さんは、なんとなく行きづらくて・・・

小野さんは諸事情あって・・・
 新開さんは仕事の都合で・・・
 佐久間さんは家庭の事情で・・・

結果、お声掛けの甲斐あって、すべての方が一度は例会に参加してくださいました。一年間一度も例会に出なかった人は一人もいません。会員100パーセント出席。これは素晴らしい成果だったと思います。その中には座禅例会(職場訪問)と称して小野会員の職場である仏母寺さんに無理やり押しかけたことがありました。→敬蔵さん

新会員歓迎会だからと新開会員をお誘いいただいたことがありました。→宗弘さん

足を運ばなくてもリモートで参加できるからと理由をつけて佐久間会員にもご参加いただきました。→小澤さん

来たくないわけではなく、参加できない状況があったり、なんとなく来づらくなってしまったとか行かなくてもいいかという気持ちに対し、声掛け、ほんのちょっとしたきっかけづくりなど、気に掛けること、仲間意識を持ち続けることがとても重要でとても効果のあることだと実感することができました。改めましてご協力いただいた皆さんのご尽力に感謝いたします。

石黒ガバナーが公式訪問でなさったスピーチの中で、「会長挨拶に命を懸ける、自分の挨拶を聞くために例会に来い」ぐらいの気持ちで例会に臨んでほしいとおっしゃっていました。とてつもないプレッシャーでした。皆さんの為になる話などはできるわけありません。たわいがなくても、聞いてみたい、聞きたくなるようなことをお話することだけは常に心掛けてきたつもりですが、私の挨拶はどうでしたか。

私自身の成果として、話の「中身」はともかく、少なくとも皆さんの前に立ってお話する話し方、筋道立てて話を構成する力、そして原稿を作るために早起きする習慣を身に付けることができました。加えて、このようなことを通してロータリーに関する知識もほんの少しは深まったと思います。それもこれも会長という重責をお任せいただいたおかげであり、自分を成長させることができた一年間になったと思います。慶行さんには断れない状況の中、無理やりに幹事をお願いいたしましたが、私の考えを尊重し、陰になり日向になり、常に的確なアドバイスを下さり、助けていただきました。慶行さん、本当にありがとうございました。やり残したこと、できなかったこともたくさんあります。一会員一推薦と

声高に目標を掲げながら実践できず、会員拡大ができなかったことが一番残念だったことです。会員拡大は我がクラブ最大の課題であり目標であったはずで先頭に立つつもりだったのに、力不足といわざるを得ません。しかし、これは短期間にできることでもなく、地道に積み重ねて継続していくことが大事だということもわかりました。次年度は、会員増強委員長にご指名いただいておりますので、引き続き、今度はクラブ一丸、ワンチームとなって取り組み成果が出せるよう、その先頭に立って取り組んでまいりたいと思いますので、ご協力の程お願いいたします。また、My ROTARYの登録率向上にも努めてまいりたいと思っておりましたが、こちらも際立った活動、成果を上げられませんでした。こちらも会員増強委員会の任務ととらえIT担当委員会の慶行委員長とともに登録率向上を図ってまいりたいと思います。いずれにしても七月からの新年度、智弘会長のおかれた状況や目標も今年度と大きく異なるものではないと思いますので、今年一年の経験を活かし、新会長を支えて、助けて、ますます福島西ロータリークラブを盛り上げてまいりたいと思います。

福島西ロータリークラブのすべての会員の皆さんのご協力に感謝申し上げ、一年間を振り返ってのスピーチを終わらせていただきます。

◇閉会点鐘 黒澤 信之 会長
 ※会報カメラ担当 宮崎 秀剛 会員

◇「麻薬撲滅基金」贈呈

6/14(月)県北保健福祉事務所にて、薬物乱用防止指導員協議会様へ「麻薬撲滅基金」を贈呈しました。



●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館